



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 松屋フーズ
コード番号 9887 URL <http://www.matsuyafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 緑川 源治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 小松崎克弘

TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	60,510	2.1	1,670	△10.7	1,703	△8.5	569	△33.4
26年3月期第3四半期	59,276	0.9	1,870	46.7	1,862	44.0	854	46.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 560百万円 (△33.6%) 26年3月期第3四半期 843百万円 (44.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	29.88	—
26年3月期第3四半期	44.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	58,185	33,621	57.8	1,764.26
26年3月期	57,879	33,519	57.9	1,758.87

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 33,621百万円 26年3月期 33,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
27年3月期	—	12.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,260	2.9	2,280	△2.9	2,310	△1.8	860	24.6	45.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	19,063,968 株	26年3月期	19,063,968 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	6,822 株	26年3月期	6,670 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	19,057,214 株	26年3月期3Q	19,057,401 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴い設備投資等の増加等、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、原料高による価格上昇、海外景気の下振れ等の景気を下押しするリスクもあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、家計収入の増加期待から、洗練された高付加価値商品への顧客ニーズが高まりつつあります。一方で、食材価格や人件費の上昇、円安等により経営環境は一層厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、第二の主力業態として、とんかつ業態を中心に新店し、直営のとんかつ業態14店舗、牛めし業態3店舗（内、FC1店舗）の合計17店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし定食店11店舗、とんかつ業態2店舗につきましては撤退いたしました。したがって、当第3四半期連結会計期間末の店舗数はFC店を含め、1,041店舗（うちFC7店舗、海外3店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし定食店967店舗、とんかつ業態60店舗、鮎業態7店舗、その他の業態7店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、38店舗の改装（全面改装9店舗、一部改装29店舗）を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、チルド牛肉を使用し肉本来の旨さを引き出した「プレミアム牛めし」を導入し、プレミアムシリーズ第2弾として、肉厚な熟成チルド豚ロース肉を使用した「豚テキ定食」を販売いたしました。この他新商品として「筍牛めし」「味噌漬け牛カルビ定食」「和風おろしハンバーグ定食」「タッカルビ風鶏の甘辛味噌炒め定食」「ガリチキ定食」「トマチキ定食」「香味野菜のミートソースハンバーグ定食」「鶏のチリソース定食」等を導入いたしました。また、「山形だし牛めし」「夏野菜トマトカレー」「山かけネギトロ丼」「うまトマハンバーグ定食」「豆腐キムチチゲセット」「チゲカルビ焼セット」等の季節商品の販売や、「牛焼肉定食」「カルビ焼肉定食」の増量キャンペーン、「夏のドリンクフェア」を実施いたしました。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比101.8%と前年を上回ったこと等により、前年同期比2.1%増の605億10百万円となりました。

売上原価につきましては、食材の仕入単価上昇等により、原価率が前年同期の33.9%から34.0%に上昇いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の62.9%から63.2%となりました。この要因は、アルバイト・パートの平均時給の増加等により、人件費の売上高に占める割合が前年同期の33.2%から33.8%と上昇したことによるものであります。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前年同期の67.1%から67.8%へと上昇いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比10.7%減の16億70百万円、経常利益は同8.5%減の17億3百万円、四半期純利益は同33.4%減の5億69百万円となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は581億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億6百万円増加いたしました。このうち、流動資産は135億84百万円となり、現金及び預金が9億70百万円、原材料及び貯蔵品の在庫が6億78百万円増加したこと等によって、前連結会計年度末に比べ14億56百万円増加いたしました。また、固定資産は446億1百万円となり、減価償却による減少等によって、前連結会計年度末に比べ11億50百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は245億64百万円となり、短期借入金等の増加等により前連結会計年度末に比べ2億3百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は336億21百万円となり、利益剰余金の増加等によって前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の57.9%から57.8%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期の業績は概ね計画通りの水準で推移しており、平成26年10月31日に公表いたしました、通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,853,232	8,823,613
受取手形及び売掛金	372,157	492,358
商品及び製品	243,228	288,241
原材料及び貯蔵品	2,201,014	2,879,558
繰延税金資産	494,518	250,345
その他	963,130	850,090
流動資産合計	12,127,283	13,584,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,623,225	14,539,837
機械装置及び運搬具(純額)	1,522,040	1,447,864
工具、器具及び備品(純額)	1,640,621	1,459,930
リース資産(純額)	401,584	727,973
土地	10,266,030	10,266,030
建設仮勘定	12,902	11,569
有形固定資産合計	29,466,403	28,453,206
無形固定資産		
ソフトウェア	190,439	170,198
その他	19,173	29,181
無形固定資産合計	209,613	199,379
投資その他の資産		
投資有価証券	173,568	173,650
敷金及び保証金	13,118,451	12,969,409
長期前払費用	586,545	552,659
店舗賃借仮勘定	74,930	65,642
繰延税金資産	1,134,254	1,186,489
投資不動産(純額)	637,673	640,228
その他	361,444	372,084
貸倒引当金	△10,650	△11,107
投資その他の資産合計	16,076,218	15,949,056
固定資産合計	45,752,235	44,601,642
資産合計	57,879,518	58,185,851

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,577,431	1,851,219
短期借入金	344,971	2,866,648
1年内返済予定の長期借入金	3,489,964	3,379,364
未払金	2,516,690	2,865,884
リース債務	157,321	201,869
未払法人税等	993,267	311,155
賞与引当金	902,394	427,712
役員賞与引当金	—	476
資産除去債務	—	856
その他	1,091,734	1,557,768
流動負債合計	11,073,775	13,462,954
固定負債		
長期借入金	11,570,551	9,063,678
役員退職慰労引当金	582,100	582,100
リース債務	263,974	575,779
資産除去債務	689,929	697,970
繰延税金負債	14,184	14,050
その他	165,647	167,493
固定負債合計	13,286,387	11,101,072
負債合計	24,360,162	24,564,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,144
利益剰余金	19,946,684	20,058,674
自己株式	△13,012	△13,314
株主資本合計	33,552,749	33,664,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181	234
為替換算調整勘定	△33,574	△42,847
その他の包括利益累計額合計	△33,393	△42,612
純資産合計	33,519,355	33,621,824
負債純資産合計	57,879,518	58,185,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	59,276,987	60,510,608
売上原価	20,110,448	20,574,147
売上総利益	39,166,539	39,936,460
販売費及び一般管理費	37,296,066	38,265,954
営業利益	1,870,472	1,670,506
営業外収益		
受取利息	30,644	27,465
受取配当金	1,229	1,229
受取賃貸料	188,490	201,887
その他	110,199	141,969
営業外収益合計	330,563	372,551
営業外費用		
支払利息	150,765	119,099
賃貸費用	162,866	166,313
その他	25,012	54,423
営業外費用合計	338,644	339,836
経常利益	1,862,392	1,703,221
特別利益		
固定資産売却益	600	556
固定資産受贈益	4,182	900
収用補償金	127,109	22,640
特別利益合計	131,892	24,096
特別損失		
固定資産除却損	7,949	4,476
店舗閉鎖損失	16,603	29,682
固定資産売却損	18,481	12,734
減損損失	138,315	341,191
その他	1,780	51,684
特別損失合計	183,131	439,769
税金等調整前四半期純利益	1,811,154	1,287,549
法人税、住民税及び事業税	739,809	526,113
法人税等調整額	216,623	192,072
法人税等合計	956,433	718,186
少数株主損益調整前四半期純利益	854,720	569,362
四半期純利益	854,720	569,362

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	854,720	569,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140	52
為替換算調整勘定	△11,349	△9,272
その他の包括利益合計	△11,209	△9,219
四半期包括利益	843,511	560,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	843,511	560,143
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年6月25日開催の定時株主総会及び平成26年10月31日開催の取締役会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、第1四半期会計期間において、利益剰余金が228,687千円減少し、当第3四半期において利益剰余金が228,685千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月25日 定時株主総会	普通株式	228,687	12	平成26年3月31日	平成26年6月26日	利益剰余金
平成26年10月31日 取締役会	普通株式	228,685	12	平成26年9月30日	平成26年12月10日	利益剰余金